

# 議会だより けんぶち

153号

2026年3月発行  
剣淵町議会



剣淵町議会YouTube



剣淵町公式HP



新議会議員抱負	2～3
第5回臨時会・第4回定例会・第1回臨時会	4
一般質問に5氏が登壇	5～9
物価高騰対応臨時交付金・マツダイイベント・編集後記	10

# 7人の議員 新たな決意で

任期のはじまりにあたり、各議員の好きな言葉と、抱負をお伝えします。



副議長

**酒井 修** (66) 3期目

お世話になります。大きなお金を使わなくても、みんなが笑顔になれるまちづくりを行っていきたいと思います。剣淵の底力をみせましょう。



産建文教常任委員長

**佐藤 宏和** (64) 2期目

町民が元気で安心して暮らせるよう、若い人が活躍できるように頑張ります。次期町議選には出馬しやすい環境を作りたいです。



**古屋 秀樹** (65) 1期目

どんなに悪く見える状況でも必ず一本の白い道があります。剣淵としてできることはまだまだあります。具体的に動いて参ります。



議長

**大澤 秀明** (39) 4期目

今年40歳を迎えます。色々な事に挑戦しすぎて、最近では年上の方からも体調を心配されますが、これからも町のために挑戦を続けます。



総務厚生常任委員長

**竹内 佳明** (68) 2期目

町民一人ひとりが笑顔と健康で過ごせる町づくりのために引き続き努めます。併せて、普段の「気付き」を議会で発言します。



**早乙女 晃隆** (54) 2期目

町民の声に真摯に向き合い、できる可能性を探り、新しい発想で安心して暮らせる持続可能な町づくりに取り組めます。



議会運営委員長

**岡 康照** (52) 3期目

陰から議会を支え、地域の今とこれからを明るく照らすことができるよう努めます。町民の皆様に寄り添い、共に歩んで参ります。

## 議会運営委員会

- 委員長 岡 康照
- 副委員長 竹内 佳明
- 委員 早乙女 晃隆
- 委員 佐藤 宏和
- 委員 酒井 修

## 総務厚生常任委員会

- 委員長 竹内 佳明
- 副委員長 古屋 秀樹
- 委員 早乙女 晃隆
- 委員 岡 康照
- 委員 酒井 修

## 産建文教常任委員会

- 委員長 佐藤 宏和
- 副委員長 早乙女 晃隆
- 委員 古屋 秀樹
- 委員 酒井 修
- 委員 大澤 秀明

## 第5回臨時会 12/15

改選後初の臨時会で会期は1日間。議長・副議長の選挙、常任委員、議会運営委員の選任、土別地方消防事務組合議会議員の選挙、監査委員の選任について審議を行い可決しました。

### 議長・副議長の選挙

議長に大澤秀明、副議長に酒井修が当選。

### 選挙結果

議長	大澤 秀明	7票
副議長	酒井 修	4票
	岡 康照	3票

### 総務厚生常任委員会

委員長	竹内 佳明
副委員長	古屋 秀樹

### 産建文教常任委員会

委員長	佐藤 宏和
副委員長	早乙女晃隆

### 議会運営委員会

委員長	岡 康照
副委員長	竹内 佳明

土別地方消防事務組合議会議員に大澤秀明、酒井修、竹内佳明を選任。

### 監査委員(識見)の選任



高橋 正尚氏 (新任)  
住所 屯田町1135番地  
任期 令和7年12月15日  
~令和11年12月14日

## 第4回定例会 12/23~24

改選後初の定例会で会期は2日間。一般質問に5名が登壇。議案は条例制定1件、条例改正2件、補正予算7件、人事案件1件で慎重に審議を行い全て可決しました。

### 条例制定

- 犯罪被害者等支援条例の制定  
犯罪被害者等基本法に基づき、本町における犯罪被害者等の支援に関し、基本理念を定め、町、町民等及び事業者の責務を明らかにし、犯罪被害者等の支援について基本となる事項を定めます。

### 条例改正

- 特別職・職員の給与に関する条例の一部改正  
特別職(議会議員も準用)の期末手当支給月数を0.05月分引上

げ、職員の給与は行政職給料表、期末手当・勤勉手当、宿直・日直手当、通勤手当の改定です。

### 補正予算

### 畑地化促進事業交付金ほか

- 一般会計に8147万円、国民健康保険特別会計に93万円、国民健康保険剣淵町立診療所特別会計776万円、後期高齢者医療特別会計71万円、介護保険事業特別会計328万円、簡易水道事業会計470万円を追加し、下水道事業会計では8583万円を減額しました。

主な内容は、一般会計では畑地化促進事業交付金等6310万円、物価高対応子育て応援手当等714万円、国民健康保険事業会計では保険税収納システム等改修業務委託料93万円、国民健康保険剣淵町立診療所会計では職員給料等76万円などです。

### 要望意見書

- 2件を採択しました
- 国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書  
要請団体：北海道町村議会議長会
- 食料・農業・農村政策確立に関する予算の拡充等を求める要望意見書  
要請団体：剣淵農民連盟

### 人事案件

### 副町長の選任に同意



板東 雅史氏 (新任)  
住所 仲町26番4号  
任期 令和7年12月28日  
~令和11年12月27日

## 第1回臨時会 1/14

議案は補正予算2件があり、慎重に審議を行い原案通り可決しました。

### 補正予算

- 一般会計3697万円、国民健康保険事業特別会計15万円を追加しました。

主な内容は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金です。  
(10Pに項目を掲載)  
国民健康保険事業特別会計では、事務処理標準システムガバメントクラウド利用料15万円です。



おか やすてる  
岡 康照 議員

# 人口減少など従来の課題に対応しつつ、財源確保と既存事業の見直しをどのような考え方で進めていくのか

**町長** 教育・福祉と稼ぐ町を柱に、財源確保を図りながら歳出見直しを進め、町民と歩調を合わせて小さな変化を積み重ねていきたい

**岡 康照 議員**

町長が選挙戦で掲げた公約のうち、任期4年間で特にどの分野を重点分野として位置付けるのか。また、人口減少など従来の課題に対応しつつ、財源確保と既存事業の見直しをどのような考え方で進めていくのか伺う。

**西岡将晴 町長**

公約として掲げた「オール剣淵での活性化」「教育・福祉の充実」「稼ぐ町」は、いずれも剣淵町の持続的発展に欠かせない柱である。4年間では、町の将来像に直結する施策と、基盤を強化する施策を両立して進めることが重要と考えている。最優先は教育と福祉であり、子育て世代への支援と高齢者が安心して暮らせる環境づくりを進め、住民満足度と人口維持の土台としたい。財源確保の基本は、ふるさと納税など歳入の増加、国・道補助金や民間連携の活用、行政コスト削減の3点である。これまでの成果を踏まえ、住みよさと持続可能なまちづくりを目指す中で、過去の良い流れを生かしつつ、時代や財政状況に応じて変化させていく必要があると認識している。

**岡 議員**

教育・福祉を最優先とされたが、任期4年間の終わりに、どのような姿になっていれば、訴えたことが形になったと言えるかと考えるか。

**西岡 町長**

子育て世代の方々が変わったということを実感していただくことが必要で、任期前半戦において最大限力を注ぎたい。

**岡 議員**

短期の取組だけでなく、人口対策など時間を要する課題もある。長期目線では、どのような取組を考えているか。

**西岡 町長**

歳出の徹底した見直しが必要で、今の実情に合ったコンパクトなまちづくりを進めていく必要があると考えている。

**岡 議員**

自治体の稼ぐ力には限界があり、背伸びしない範囲で取り組むことが必要である。ふるさと納税で得た財源は、教育・福祉や、絵本・農業など剣淵らしい分野に優先的につなげていくべきと考えるが。

**西岡 町長**

背伸びをしないという点については、おっしゃるとおり。ふるさと納税で給食費の部分を賄うという頑張りをまず示していきたい。

**岡 議員**

選択と集中、行政コストの削減の見直しの判断基準として、どういった点を優先される考えか。

**西岡 町長**

利用率など状況を確認した上で、集約化や複合化、転用、統合などを検討し、町民の皆様や利用されている皆様の意見を伺いながら判断していきたい。

**岡 議員**

限られた財源・職員体制の中で、何を守り何を見直すかという選択は避けられない。どのように納得感を引き出し、どう新しい町の姿を町民に示していくか。

**西岡 町長**

背伸びやスピードを出し過ぎることのないよう、町民の皆様と歩調を合わせていきたい。目指すべき姿は、今までの町政をしっかりと継承していく中で、ポイントポイントで変えていくことであり、小さな成功や変化を積み重ねて、皆さんに体感してもらえよう努めてまいりたい。

**岡 議員**

対話と傾聴を掲げているが、幅広い町民の声を集める工夫として、どのように進めていく考えか。

**西岡 町長**

これまでまちづくりが少し遠かった若い世代も含め、様々な団体の場に行き届き、足運びしたい。特定の声に偏らず、声にならない声も含めて丁寧に拾い上げ、政策や行政の活動につなげていきたい。



ふるや ひでき  
古屋秀樹 議員

# 剣淵町における再エネ条例の制定に向けた動きと予定事業への対応は

**町長** 条例制定に向けて役場内で研究中。騒音、景観、水資源に配慮する

## 古屋秀樹 議員

現在、剣淵町には再生可能エネルギー事業に関する条例がない。これでは、町として事業者と協議ができず、事業に係る情報を得られず、事故等が起きても事業者に報告を求めることができない。町としての対応は。

条例が制定された場合、役場への再エネ事業の問合せ対応、条例上の判断が求められる。対応体制をどうするか。国による専門家派遣制度を活用するのか。

士別・剣淵に跨るAMP社のメガソーラー事業は令和8年5月に始まる。町として事業者とどのように協議を進めるのか。

## 西岡 町長

再エネ事業に関しては町民も心配し、注目している。報道では無秩序な開発、環境配慮を心配する声が見受けられる。剣淵町としても、国や北海道の法令制度にて補完しながら住民の安心、環境保全の観点から、町のルールを設けていく必要があると判断している。事業者による住民への説明会、および環境保全の措置の義務づけを検討している。

公害防止、騒音、景観、水資源等の影響への対応を義務付けたい。専門家派遣制度は、自治体の財政的、人的な負担の軽減に繋がる

有効な制度だと思う。活用を検討したい。

AMP社のメガソーラーの計画については関係する地権者等に対する説明会の開催を確認している。剣淵町としても事業者より事業内容の説明を受けている。発電設備の配置、工事のスケジュール、工期、冬季の除雪対策、大雨時の河川の氾濫対策のため池の設置を含む安全対策の説明を受けた。事業の面積については士別市の方が大きい。事業者と継続して、士別市と連携して協議を進めたい。着工予定の5月に向け、施工計画、災害対策の具体化、維持管理方法等について、確認を行い、安全で適切な事業実施が図られるよう努めてゆく。

## 絵本原画の適切な保全と活用について

### 古屋 議員

絵本の館の保管室は、原画に対する火事による焼失、館内でのぼや等の煤による煤の汚れに対する対処はされていない。地震により書棚倒壊による原画破損、保管庫内の空調配管の漏水による損傷等の建物事故から原画を守る措置がなされていない。原画が損傷を受けた場合、原画の回復は困難であり、損失ははかり知れない。町と

してどのように保全してゆくののか。町民の資産である原画の活用について、具体的に町としてどう考えているのか。

## 山下 教育長

絵本の館は関係法令に沿った耐火、防火、耐震性能を有しており、火災報知設備を設置し、毎年、消防署の立ち入り検査を受けている。原画収蔵室は全方位コンクリート壁で覆われ、出入口は鉄製の壁となっており、絵本の館の火気は全てオール電化となっている。収蔵室については、24時間空調管理を行っており、空調設備の保守点検や室内温度の異常を警備会社に通報する装置を設置し、原画の保全に努めている。

町所蔵原画展は、自主企画展で活用しているが、その機会は少ない。絵本の館展示ホールでは年間200日程程度のイベントを行っている。町所蔵の原画展の機会を増やせるか検討する。原画の貸し出しは、依頼があれば行うが、原画は美術品であり、展示会場における展示方法や管理方法等の状況によつては、貸し出しを行わない。絵本原画の展示、貸し出し以外の活用について、町民、絵本の里を創ろう会等の意見により研究をしてゆく。



たけうち よしあき  
竹内佳明 議員

# 西岡町長の町政に臨まれる考えについて

**町長** 職員が持っている能力、スキル・情熱を最大限に発揮し、町政に引き出す。機構改革は町民のサービス向上、効率的な行政運営の手段であり、財政の健全性は持続可能なまちづくりの大前提と考えている

## 竹内佳明 議員

西岡町長は、就任4日目ということで、様々な町政の課題が山積していることを実感し、具体的な方針をすべし示すことが困難とは察知しているが、一方では、町政も停滞が許されない状況です。①職員の英知をはかるための取り組み、②機構改革の必要性、③持続可能な財政計画の見通しについて、考えを伺いたい。

## 西岡 町長

まず1点目は職員一人ひとりが持っている能力、スキル・情熱を最大限に発揮し、引き出していきたい。

デジタル技術の活用や地域課題の分析に関する専門知識などを習得する学習機会を増やし、政策形成能力を高めていく。

また、若手・女性職員が意見を述べやすい、言いやすい環境整備を行い、新しい発想、斬新な提案を積極的にまちづくりに取り入れる仕組みを作っていく。

2点目の機構改革は、単なる、部署の再編という観点ではなく、

町民のサービス向上、効率的な行政運営を目指すための手段と考え、現在進行中の業務の必要性、各課の業務量、そして、町民の皆様から寄せられる具体的な要望を踏まえて徹底した現状の分析を行うっていく。

3点目で町政の基盤となる財政の健全性は、今後とも持続可能なまちづくりの大前提であり、現状では、少子高齢化に伴う社会保障費の増加、公共施設の老朽化・修繕などで避けられない支出を見据えた中で、厳しい財政状況が続くと認識している。

収入の確保では、低いふるさと納税の額を上げるための取り組み強化、外部資金活用では、国や道の補助金、交付金などを戦略的に獲得して行く。

また、民間との協働や委託などで行政コストの削減、事務効率化、行政改革の継続を実施して、簡素で効率的な町政の運営を引き続き推進していきたい。

## 竹内 議員

職員の英知をはかるための具体的な取り組みについて。

## 西岡 町長

課を横断して学習し、ブレインストーミングを行う形を取りながら、そこに町民の方の意見を聞く機会を簡易で作っていきたい。

## 竹内 議員

早期の機構改革の必要性は？

## 西岡 町長

効率的にやる場合に機構改革は必要だと思っており、段階的に進めていきたい。

## 竹内 議員

中期的な財政計画の見通しを早急に立てるべきかと思うが。

## 西岡 町長

財源の確保、財政的な見通しなくして行政の推進はできない。国の重点支援などを有効に活用し、助走期間を設けて次につなげたい。短期ではなく中期で申し上げると、自分の在任期間中に町の各種計画と照らし合わせながら、実現可能な内容について、組み立てていきたい。



さとう ひろかず  
佐藤宏和 議員

# 公約に掲げる「町の稼ぐ力の強化」について

**町長** ふるさと納税の効果的なプロモーション戦略を立てて専門スタッフを配置する

佐藤宏和 議員

人口減少、少子高齢化、物価高騰、公共施設維持費の増大などにより、地方自治体の財政運営は今後一層厳しくなる。地方交付税の大幅な増額が見込めない中、歳出削減とともに歳入確保が不可欠である。新町長が公約に掲げる「町の稼ぐ力の強化」について、ふるさと納税、観光、企業誘致を中心に具体的な計画とビジョンを伺う。

西岡 町長

町政運営の大前提は健全性と持続可能性であり、その実現のため「稼ぐ力の強化」を進めます。特にふるさと納税は伸び代があり、即効性の高い歳入確保策と位置付け、単なる寄付ではなく「剣淵町のファンづくりのためのマーケティング」として強化する。専門スタッフは町職員に限らず、外部人材や地域おこし協力隊なども含め、柔軟に検討し、返礼品開発、データ分析、効果的なPRを進める。観光分野では「絵本の里けんびち」を最大のブランドと捉え、既存施設や自然資源を生かした滞在型・体験型観光を推進し、交流人口・関係人口の拡大を目指します。

企業誘致については、既存進出企業の成功事例を踏まえ、地域特性に合った企業を対象にトップセールスを行い、雇用創出と産業多角化につなげて行きたい。

佐藤 議員

新聞記事に「現在町が進める、道の駅と道央自動車道を接続するパーキング構想は財政が裕福でない状況では不要だと考える。」と、あったが、この件について考えを伺う。

西岡 町長

道の駅と高速道路接続構想については「町の一般財源を大量投入する前提であれば不要」という趣旨であり、補助制度等により町負担が抑えられ、町に有利であれば前向きに検討したい。

## 農業の展望と課題解決について

佐藤 議員

農業は人手不足や高齢化、気象変動、水田活用交付金見直しなど大きな課題に直面している。剣淵町では転作率が8割を超え、令和9年度以降の制度改正の影響は深

刻である。若手農業者が希望を持てる「儲かる農業」を実現するため、公約に掲げる後継者育成、労働力確保、スマート農業推進の考えを伺う。

西岡 町長

後継者確保は親元就農が中心で、新規就農は土地・設備負担が大きい現状にあるが、剣淵高校や農業大学で学び就農する若手も一定数存在する。労働力確保については、短期就労やネット・SNSを活用した民間主導の人材募集が既に成果を上げており、行政はその動きを把握し支援して行く。

また、地域おこし協力隊など多様な入口を通じ、農業に関心を持つ人材の受け入れも検討の対象としたい。スマート農業については、省力化による人手不足対策の「最大の武器」と位置付け、需要や効果を見極めながら予算編成で検討する。さらに、若手農業者の意見を重視し、経営視点の導入、ブランド化や高収益作物への挑戦、人材育成・学びの場づくりを進め、「夢を描ける農業」「持続可能な農業」の実現を目指して行きたい。

# 役場職員との一体感をどう創っていくのか

**町長** 私から積極的に対話を行い、職員の声を聴いていきたい



さかい おさむ  
酒井 修 議員

酒井 修 議員

今回の町長選挙で現職候補が敗れ、新人町長が就任したことは、剣淵町においては初めてのケースで、年齢によっては、年下の町長となる職員もいる。このような状況下で町民も職員も不安になっていると思う。役場と町民が混乱しないように、どのように対応していくのか、町長の考えを伺いたい。

西岡 町長

新人町長の就任というのは、職員にとって大きな変化だと思う。今まで職員であったとは言っても、世代が一気に下がることには、不安を感じるのが当たり前と理解をしている。前例がない分、慎重な舵取りが求められることを強く認識している。

まず、役場職員との一体感を作るためには、私、自らが積極的に対話をして、職員の声を聴くことが最も重要だと考えている。職員の現状の課題に対する意見、そして懸念を発言できる雰囲気を作っていくきたい。また職員の皆さんは、最大のパートナーであり、町政運営における町職員の重要性を改めて強調していきたい。特に経験豊富な職員には、経験

や知見、それらを尊重しながら、また若い職員には、新しい視点や技術、柔軟な発想を積極的に取り入れた姿勢を示して、一体感を醸成していきたい。

次に町民の皆様のために、よりよいサービスを提供するために、一緒に変革をしていきましょうと前向きなメッセージを発していきたい。

酒井 議員

今の役場は昔と違い、募集してもなかなか職員が集まらない状況であり、逆に退職していく職員が増えており、これが続けば剣淵町にとっての死活問題になってしまふ。町長の言う、稼ぐ力は間違いなく必要だが、剣淵町が生き続けることはもっと大切である。剣淵町が生き続けるためには、政策も大事だが、職員を何とかしてかき集めてくる。そして、職員をやめさせないように考えていかなければならないと思うが、その点について伺いたい。

西岡 町長

世代間の考え方の違いとか、感覚の違いというのは、どうしても合えるような仕組み、或いはコミ

ュニケーションをとっていければと思う。できる限り、辞めないで町で働いて地域づくりに協力いただけるように、そういう体制を強化していきたい。

酒井 議員

コストカットの話が出ていたが、その部分については、特に難しい問題だと感じる。本当に町民、職員等いろいろな方々と納得いくまで話し合って、拙速な判断をしてはいけないと考える。この施設の運営はもう難しいと考えても、そこに依存している方は絶対いるわけだから、そういう人たちの思いも、くみ上げることが、必要なのかなと考えるが、その点についてはいかがか。

西岡 町長

弱者の切り捨ててみたいなのはあつてはならないし、何かをやるにしても、先ほど来申し上げている通り、やはり説明は納得しているただかないうちに、それを断行するとか、行政側の思いだけで答申するようなどは、やってはいけないと考えている。対話と傾聴をしっかりと繰り返しながら話を進めていきたい。

## 物価高騰対応臨時交付金

内閣において令和七年度一般会計補正予算は十一月二十八日閣議決定、十二月一六日参議院での可決をもって成立しました。これを受け、国より重点支援地方交付金の拡充の形で、剣淵町に対し、交付されることが決まりました。剣淵町としては、国より示された予算枠と推奨事業メニューより、3500万円を物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の計画を国に対して提出することとしました。その計画に基づく交付金の使途として、町が補正予算を議会に諮りました。なお、予算総額は、地方交付税、道支出金の増、および本補正に伴う財源調整により、総額として3697万円の増となり、歳入歳出総額はそれぞれ43億6905万円となりました。

今回の補正の主な項目は次の通りです。(万円以下省略)

### ○給食事業費 278万円

(小中高学生の保護者に対し負担軽減のため学校給食費を支援)



### ○社会福祉施設等支援 900万円

(対象：障害者支援施設2施設、特別養護老人ホーム1施設、グループホーム1事業所、有料老人ホーム1事業所)

### ○子育て世帯支援 311万円

(0歳～高校3年生まで、一人あたり1万円の追加給付)

### ○農作物生産資材等支援 1971万円

(町内の経営所得安定対策対象農業者に対し、耕作面積に応じて交付)

### ○酪農飼料高騰対策 168万円

(酪農畜産経営者の負担軽減支援として、牛の飼養頭数に応じて交付)

### ○観光事業者支援 50万円

(エネルギー価格高騰対策として支援)

これらの項目は、議員による内容確認質疑の後、全て承認されました。

## マツダタウンフェスタ2026

2月1日西原町の「マツダ自動車試験場」を開放してイベントが行われ、町内外から約400人が来場しマツダ車の体験搭乗や各種ゲーム、マツダグッズなどが当たるお楽しみ抽選会が行われ、会場を訪れた人々が賑わいました。屋内では「剣淵高校」「燻し家」「マツダ株式会社」のコラボカシャー(がんすカシャー)が無料でふるまわれました。「がんす」とは、白身魚のすり身に玉ねぎや唐辛子などを混ぜ、長方形に成形しパン粉をまぶしてあげたもので、広島県で親しまれている製品です。剣淵高校の生徒が選定しシルデザインも手掛けたそうです。



また道の駅では、前日から2日間にわたり「広島物産展」が開催されており、もみじ饅頭、カキの加工品、瀬戸内レモンやみかんなど、たくさんの商品が並び、人気のスイーツは数時間で完売していました。

## 編集後記

表紙の写真はスノーフェスタでの一コマです。今年もガールイレコードが会場を盛り上げ、たくさんの方で賑わいました。雪に覆われる日々が続く中、春を間近に控え、静かに新年度への準備が進んでいます。昨年11月の町長・議員選挙を経て、本町は新たな体制で町政が動き始めました。議会広報もより分かりやすく、開かれた議会をつたえる紙面を心がけてまいります。

(早乙女)



委員長  
副委員長  
委員

早乙女 隆  
井 晃  
酒井 修  
岡 康  
竹内 佳  
佐藤 宏  
古屋 樹